

原発事故後の 子ども保養支援

「避難」と
「復興」とともに

ひきた かすみ
足田香澄著

2018年8月刊 ISBN978-4-409-24121-9 四六判276ページ 本体2,000円＋税

原発事故後、外でめいっぱい遊べなかった子どもたち——
「避難」や「復興」の合間を縫う、
子どもたちのための第三の道

原発事故後の住民たちの対応は、「避難」か「在住」かの選択にとどまらない。たとえ在住を選んでも、すべての人が追加被ばくを受け入れたわけではないからだ。事故によって権利を侵された人々が、これ以上リスクを押しつけられないために、「保養」支援の現場に立ち続けてきた著者が問う、日本社会の現実とその未来。

◎著者略歴 1986年生まれ。早稲田大学第二文学部卒業。東日本大震災直後より、子どもや母親たちと向き合いながら支援をつづける。保養キャンプの主催、現地での相談会開催、支援情報の提供、保養実態調査、避難者支援、支援の全国ネットワーク運営などを行ってきた。リフレッシュサポート代表。著書に「ポストフクシマの哲学」(朝石書店、共著)がある。

—もくじ—

はじめに

第1章 保養とは何か

第2章 事故後の葛藤

——いま目の前にいる子どもをどうするか

第3章 支援の実態——立ち現れる多様な社会

第4章 保養の課題——調査とマッチングから

第5章 制度、そして権利

第6章 語られぬものについて語る

第7章 「分断」「差別」と向き合う

第8章 子どもたち——新しい支援が生まれるとき

おわりに

お名前	『原発事故後の子ども保養支援』 (本体価格 2,000 円＋税)	書店名・組合
ご住所 〒		
	<input type="checkbox"/> 冊注文いたします	
連絡先	人文書院 FAX番号 075-603-1814	

※ご注文は各書店でお受けいたします。弊社へ直接ご注文の場合は送料 350 円を頂戴いたしますのでご了承ください。

人文書院 〒612-8447 京都市伏見区竹田西内畑町 9 TEL075-603-1344
http://www.jimbunshoin.co.jp/ Twitter: @jimbunshoin